

亀川中だより No. 4

海南市立亀川中学校

海南市且来 990

Tel 073-482-3529

発行 令和 8 年 7 月 14 日

<http://www.kame-chu.kainan.ed.jp/>



写真

【教育目標】

「生きる力を育み、主体的に行動し、
未来を拓く生徒の育成」

【めざす生徒像】

- 人として本当に大切なことを忘れない生徒
- 他者から信用される生徒
- 気づき、考え、行動できる生徒
- 何事にも挑戦できる生徒
- ふるさとを大切にできる生徒

写真

努力を認め、未来へつなぐ

1 学期期末考査が終わり、中体連主催の大会が順次開催されています。これらの大会の中には、全国大会へとつながるものもあり、各部活動がこれまでの練習の成果を発揮する大切な時期を迎えています。しかし、追い込みの時期に 1 学期期末考査、相次いで台風が日本を襲い、十分な練習時間を確保できなかった部もあったかもしれません。また、大会直前には熱中症警戒アラートが発令される日もあり、熱中症対策を講じながらの練習や大会運営となりました。生徒たちが少しでもよいコンディションで大会に臨めるよう、他校の先生方をはじめ多くの方が大会運営に尽力してくださいました。ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。

3 年生はもちろん、1・2 年生も「3 年生と過ごす限られた部活動の時間を大切にしたい」という思いをもち、熱心に練習に取り組んでいました。中学生の時期に、自分で選んだことに仲間と協力しながら打ち込み、一つのことを究めようと努力した経験は、かけがえのない財産になります。目標に向かって仲間とともに努力した経験を、今後の生活にも生かしてほしいと思います。

さて、1 学期の生徒の成長については、三者面談や通知表を通してお伝えし、今後の指導に生かしていきます。学習評価には、生徒一人一人のよさや可能性を見だし、次の成長につなげるという大切な役割があります。

私たち大人は、どうしても課題や改善点に目が向きがちですが、生徒が自分自身を価値ある存在として認められるよう、「よさを見つける」「認める」「励ます」「可能性を広げる」という視点を大切にしたいと考えています。評価とは、現在の力を測るだけでなく、これからどのような言葉をかけ、どのように成長を支えていくかを考えるためのものでもあります。

学校と家庭が連携しながら、生徒一人一人への言葉かけを大切にし、その可能性や長所をさらに伸ばしていければと思います。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本を通して平和を見つめる夏

日本では 81 年前の 8 月 6 日に広島、9 日に長崎へ原子爆弾が投下され、8 月 15 日に終戦を迎えました。戦争が終わった日であると同時に、多くの尊い命が失われた悲しい歴史を忘れてはならない日でもあります。

日本はその後、一度も戦争を行っていません。しかし、現在も世界では各地で戦争や紛争が続いています。戦争が起こる理由はさまざまですが、多くの人の命が奪われ、人々の心まで傷つける戦争をしてはいけないことは、誰もが理解しているはずです。

では、日本人として過去の戦争やその過ちを知らないままでよいのでしょうか。中学生の皆さんには、ぜひ歴史に目を向けてほしいと思います。

時間に余裕のある夏休みだからこそ、過去から学ぶことができます。そこで、私自身が平和について考えるきっかけとなった小説の中から、中学生の皆さんにも読みやすい作品を紹介します。ぜひ一冊手に取り、自分なりに平和について考える夏休みにしてほしいと思います。

平和学習のためのお勧め本 5 冊

『ある晴れた夏の朝』 アメリカの高校生たちが「原爆投下は正しかったのか」をテーマに討論する物語です。さまざまな立場や考え方に触れながら、平和や歴史について多角的に考えることができます。

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 中学 2 年生の百合が戦時中にタイムスリップし、特攻隊員の彰と出会う物語です。現代の中学生と同じ視点で戦争や命の尊さを考えることができる、平和学習の入門にも適した作品です。

『収容所から来た遺書』 第二次世界大戦後、旧ソ連の強制収容所に抑留された日本人たちの実話をもとにした作品です。過酷な環境の中でも希望を失わず生き抜く人々の姿に心を打たれます。

永遠の 0 現代の若者が祖父の足跡をたどり、特攻隊員として生きた祖父の真実に迫る物語です。戦争の悲惨さだけでなく、命の尊さや家族への思いについて深く考えさせられる作品です。

夏の庭 戦争体験をもつ老人と少年たちの交流を描いた物語です。世代を超えた関わりの中で、生きることや死ぬこと、戦争の記憶について静かに考えさせられる作品です。



写真

紹介した 5 冊のうち、4 冊は映画化されています。映画をきっかけに作品に興味をもち、原作を手にとってみるのもおすすめです。映画では描ききれない登場人物の思いや背景に触れることができ、より深く作品を味わうことができます。

「この夏、自分だけの『夏活』を見つけよう！」

さて、楽しみにしていた夏休みが始まります。長い休みだからこそ、これまで身に付けてきた規則正しい生活リズムを大切にしながら、自分自身を成長させる有意義な時間にしてほしいと思います。

ところで、大学生には「ガクチカ」という言葉があります。これは「学生時代に力を入れたこと」を意味する言葉です。

皆さんも、この夏休みに自分だけの「中学時代に力を入れたこと」を一つつくってみませんか？

例えば、「資格取得に挑戦した」「地域イベントの運営を手伝った」「地域貢献活動に参加した」「英語学習を継続した」など、どのようなことでも構いません。大切なのは、活動を振り返りながら、「自分は何を学び、どのように成長したのか」を考えることです。



評価されるのは結果だけではありません。①何に取り組んだか ②なぜ取り組んだのか ③どのような課題があったか ④どのように工夫したか ⑤どのような成果があったか ⑥何を学んだか——こうした過程を振り返ることで、自分の考え方や行動の特徴に気付くことができます。例えば、「課題を見つけ、仲間と協力しながら改善策を考え、実行した」という経験は、皆さんの大きな財産の1つとなります。

長い夏休みだからこそできる挑戦があります。一人一人が自分だけの『夏活』に取り組み、ひと回り成長した姿で2学期に会えることを楽しみにしています。

聞きたい「私にできること」

7月5日、生徒総会を開催しました。生徒総会は、その年度の生徒会活動の内容や今後の在り方について審議・決定するために行われる大切な会です。今年度のテーマは、「亀川中学校が目指す生徒像について、私たちはどうすべきか」でした。

亀川中学校の教育目標の中には、「目指す生徒像」として次の5項目が掲げられています。

- ① 人として本当に大切なことを忘れない生徒
- ② 他者から信用される生徒
- ③ 気づき、考え、行動できる生徒
- ④ 何事にも挑戦できる生徒
- ⑤ ふるさとを大切にできる生徒

生徒総会の取組では、この5つの生徒像について、「実現するために自分たちは何をすべきか」を学級ごとに話し合いました。あいさつを大切にすること、人との約束や時間を守ること、困っている仲間に声をかけること、積極的に挑戦すること、地域行事に参加することなど…、目指す生徒像に近づくためのさまざまな意見が出されました。

ここで、皆さんに考えてほしいことがあります。大切なのは、話し合って終わりにしないことです。

生徒総会で考えたことを日々の学校生活の中で実践し続けることによって、学級が変わり、学校が変わっていきます。

「目指す生徒像」の実現は、生徒会役員だけの仕事ではありません。亀川中学校に通う全ての生徒が当事者です。今回の生徒総会で出された意見や考えを、自分自身の行動につなげてほしいと思います。

さて、第35代アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディは、「国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことができるのかを問うてほしい。」という言葉を残しています。この言葉を借れば、「学校があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが学校のために何を成すことができるのかを問うてほしい。」ということになるでしょう。

つまり、生徒一人一人が、学校生活を自分たちの手でより充実したものにするために、自分には何ができるのかを考え、それを行動に移していくことが大切なのです。そうした一人一人の取組の積み重ねが、「目指す生徒像」の実現につながり、よりよい亀川中学校をつくっていくことになるのです。

写真

思春期体験のもつ意味

今年も、助産師さんや市の保健師さんのお力を借りて、3年生が『思春期体験学習』を行いました。生命の誕生、出産、性に対する責任、育児などについて説明を聞いた後、10kgのおもりの入った妊婦服を着て妊婦さんの大変さを体験しました。また、赤ちゃん人形を膝にのせ、お母さんやお父さんの気分を味わいました。

この体験学習は、「赤ちゃんってかわいいなあ」で終わるものではありません。この体験（学習）の目的は「生きる力（エネルギー）の育成」にあります。

なぜ、「生きる力」になるのかというと・・・

- ① 生命の誕生って、すごく神秘的なものでもすごい確率で私たちは生まれてくる、ということを知ります。
- ② その小さな生命を、全身全霊をもってお母さんは守ります。やがて、家族みんなに歓迎されてこの世に生まれる、ということを知ります。
- ③ 自分もそのようにして生まれ、かけがえのない存在として大切に育てられていることに思い至ります。
- ④ そのかけがえのない存在であるのは、隣にいる姿も考え方も食べ物の好みも違う友だちだって同じです。だから、生きる気力を奪うような「いじめ」があったり、「死ね」なんて簡単に言ったりしてはいけないことに気がつきます。
- ⑤ 自分は自分でいい。自分の長所を伸ばし、力を発揮し、苦しいことがあってもたくましく生きていくべきであることを決意します。

生徒の皆さん全員が、「生きる力」であり、「たったひとつのたからもの」なのです。

写真

親子協働作業(育友会奉仕作業)について

- ① 日時：9月5日(土)7時30分開始 雨天時は6日に順延
- ② 作業内容 生徒：草引き、ゴミ拾い等 (2時間程度)

保護者：木の剪定、伐採、草引き等

※ すぐーるにて、後日、参加の可否を確認するアンケートを配信いたします。回答の方、よろしくお願いします。



海草地方総合体育大会の結果(7/13 現在)

・バレーボール部…第2位(県大会出場)

・男子ソフトテニス部…

田中・藤永ペア第5位(県大会出場)

・軟式野球部…優勝(県大会出場)

・バスケットボール部…第3位

行事予定 *スクールカレンダー来校日は、毎週木曜です。

7月17日(金) 第一学期終業式

19日(日) 陸上中体連地方総体

8月21日(金) 第二学期始業式 身体測定

26日(水) 1・2年宿題テスト 3年到達度テスト

9月 5日(土) 育友会奉仕作業(雨天時6日に順延、7日振替休業)

9月20日(日) 地方新人総体(陸上)

26日(土) 体育祭(28日振替休業)

10月1日(木) 3年到達度テスト

3日(土) 海南市PTAソフトバレーボール大会

10日(土) 地方新人総体(軟式野球・バレー・バスケ・テニス)(～11日)